

令和5年度吉川市下水道事業会計予算（案）概要

1 業務の予定量

区 分	R5 年度	R4 年度	R3 年度	R2 年度	R1 年度
水洗化世帯数(世帯)	25,763	25,570	25,184	24,789	24,325
年間総排水量 (m <sup>3</sup> )	6,748,909	6,616,577	6,577,531	6,498,385	6,318,274
1日平均排水量 (m <sup>3</sup> )	18,490	18,128	18,021	17,804	17,310

※令和1～3年度は確定値で、令和4年度及び5年度は令和5年3月時の見込みの数値です。

主な建設改良事業

(単位：千円)

区 分	R5 年度	R4 年度	R3 年度	R2 年度	R1 年度
管渠事業	852,070	360,812	386,600	350,174	137,991
ポンプ場事業	272,118	255,379	143,734	60,265	216,111

※ R1～R3年度は決算の数値で、R4～R5年度は当初予算の数値です。

令和5年度の業務予定量は、

- (1) 水洗化世帯数は、25,763世帯で、前年度に比べ193世帯(0.75%)の増加を見込んでいます。
- (2) 年間総排水量は、6,748,909 m<sup>3</sup>で、前年度に比べ132,332 m<sup>3</sup>(2.00%)の増加を見込んでいます。
- (3) 1日平均配水量は、18,490 m<sup>3</sup>で、前年度に比べ362 m<sup>3</sup>(2.00%)の増加を見込んでいます。
- (4) 主な建設改良事業につきましては、管渠事業8億5207万円で、前年度に比べ4億9125万8千円(136.15%)増額しています。  
また、ポンプ場事業は2億7211万8千円で、前年度に比べ1673万9千円(6.55%)増額しています。

2 収益的収入及び支出

(1) 収益的収入

(単位：千円)

款	項	R5 年度	R4 年度	R3 年度	R2 年度	R1 年度
下水道事業収益		1,551,348	1,476,302	1,524,319	1,497,512	1,491,628
	営業収益	928,872	849,246	897,021	871,501	814,308
	営業外収益	622,476	627,056	627,179	625,985	621,315
	特別利益	0	0	119	26	56,005

※ R1～R3年度は決算の数値で、R4～R5年度は当初予算の数値です。

下水道事業収益は、前年度に比べ7504万6千円(5.08%)増額となっています。

**営業収益**・・・前年度に比べ 7962 万 6 千円 (9.38%) 増額

【下水道使用料】

下水道使用料は、6億 8935 万 6 千円を見込んでおり、前年度に比べ 3627 万 9 千円 (5.56%) の増額となっています。

【雨水処理負担金】

雨水処理負担金は、雨水処理に要する経費について一般会計及び松伏町が負担するもので、2億 3819 万 1 千円を見込んでおり、前年度に比べ 4281 万 7 千円 (21.92%) 増額となっております。

【受託事業収益】

受託事業費負担金は、松伏町と共同で管理している東埼玉テクノポリス調整池の経費について松伏町が負担する分及び高久ポンプ場に接続されている国の水門の点検の経費について国が負担するもので、60 万 9 千円を見込んでおり、前年度と比べ 2 万 6 千円 (△4.09%) 減額となっております。

【その他営業収益】

その他営業収益は、手数料及びコピー代の 71 万 6 千円を見込んでおり、前年度に比べて 55 万 6 千円 (347.50%) の増額となっております。

**営業外収益**・・・前年度に比べて 458 万円 (△0.73%) 減額

営業外収益は、6億 2247 万 6 千円を見込んでおり、主なものは長期前受金戻入になります。前年度に比べ 458 万円 (△0.73%) 減額となっています。内訳は、他会計負担金が 227 万 8 千円減額、長期前受金戻入が 232 万円の減額となっております。

**(2) 収益的支出**

(単位：千円)

款	項	R5 年度	R4 年度	R3 年度	R2 年度	R1 年度
下水道事業費用		1,494,293	1,423,175	1,363,100	1,364,593	1,363,779
	営業費用	1,419,922	1,349,562	1,275,410	1,266,490	1,243,532
	営業外費用	71,358	70,613	73,031	94,978	97,168
	特別損失	13	0	14,659	3,125	23,079
	予備費	3,000	3,000	0	0	0

※ R1～R3年度は決算の数値で、R4～R5年度は当初予算の数値です。

下水道事業費用は、前年度に比べ 7111 万 8 千円 (5.00%) 増額となっています。

**営業費用**・・・前年度に比べ 7036 万円 (5.21%) 増額

【管渠費】

管渠費は、4339 万 4 千円を見込んでいます。前年度に比べて 1325 万 4 千円の増額となっております。主なものとして、雨水幹線の除草等、雨水管渠施設の維持管理に係る委託料に 1557 万 1 千円計上しております。

#### 【ポンプ場費】

ポンプ場費は、9684万5千円を見込んでいます。前年度に比べて3310万円の増額となっております。主なものとして、ポンプ場の施設管理に係る委託料に5623万6千円計上しております。

#### 【流域下水道費】

流域下水道費は、2億7246万5千円を見込んでいます。前年度に比べて653万8千円の減額となっております。そのうち、汚水の処理場を有する県への負担金が2億6995万7千円となっております。

#### 【受託事業費】

受託事業費は、39万9千円を見込んでいます。前年度に比べて3万6千円の減額となっております。松伏町と共同で管理している東埼玉テクノポリス調整池の維持管理の経費です。

#### 【業務費】

業務費は、下水道使用料徴収事務と排水設備に関する事務を内容としており、7190万6千円を見込んでいます。前年度に比べて1595万4千円の増額となります。主なものとして吉川市水道事業へ委託している下水道使用料徴収委託料6541万円を計上しております。

#### 【総係費】

総係費は、下水道事業の管理事務を内容としており、4822万1千円を見込んでいます。前年度に比べて1044万1千円の増額となります。主なものとして、職員3名分の人件費のほか、一般会計への負担金641万4千円を計上しております。

#### 【減価償却費】

減価償却費は、8億6109万8千円を見込んでおります。前年度に比べて400万6千円の増額となります。

#### 【資産減耗費】

資産減耗費は、2559万4千円です。前年度に比べて17万9千円の増額となります。内容としては、吉川橋の架替えに伴う污水管の撤去工事費715万円と撤去される管及びマンホールポンプの資産減耗分1844万4千円です。

### 営業外費用・・・前年度に比べ74万5千円(1.06%)増額

営業外費用は、7135万8千円です。内容としては、支払利息及び企業債取扱諸費並びに納付する消費税及び地方消費税です。前年度に比べ74万5千円(1.06%)増額となっています。内訳は、企業債等の支払利息が467万5千円の減額、消費税及び地方消費税が542万円の増額となっております。

## 3 資本的収入及び支出

### (1) 資本的収入

(単位：千円)

款	項	R5年度	R4年度	R3年度	R2年度	R1年度
資本的収入		1,362,872	873,624	790,510	657,573	620,419
	企業債	998,200	619,100	484,000	386,800	363,200
	他会計出資金	71,548	77,433	81,325	86,053	86,313
	国庫補助金	280,500	162,360	210,794	169,951	155,400
	負担金	12,624	14,731	14,387	14,769	15,506
	その他資本的収入	0	0	4	0	0

※ R1～R3年度は決算の数値で、R4～R5年度は当初予算の数値です。

資本的収入は、13億6287万2千円で、前年度に比べ4億8924万8千円(56.00%)増額となっています。

### 企業債・・・前年度に比べ3億7910万円(61.23%)増額

企業債は9億9820万円を見込んでいます。

項目	R5年度	R4年度	増減
企業債	998,200	619,100	379,100
建設改良費等に充てるための企業債	812,200	420,000	392,200
流域下水道事業債	26,800	30,600	△3,800
資本費平準化債	159,200	168,500	△9,300

※資本費平準化債とは、固定資産の耐用年数と企業債の償還期間の差により生じる資金不足を解消する企業債

### 他会計出資金・・・前年度に比べ588万5千円(△7.60%)減額

他会計出資金は、7154万8千円で、前年度に比べ588万5千円(△7.60%)減額となっています。これは、総務省の基準により一般会計で負担すべき企業債償還金について計上しています。

### 国庫補助金・・・前年度に比べ1億1,814万円(72.76%)増額

国庫補助金は、2億8050万円を見込んでおります。内容としては、吉川美南駅東口における污水管及び雨水管布設工事において、社会資本整備総合交付金と社会資本

整備総合交付金（防災・安全）を活用（補助率 1/2）し、汚水管渠分として 1 億 6000 万円、雨水管渠分として 1 億 2050 万円を計上しています。

**負担金**・・・前年度に比べ 210 万 7 千円（△14.30%）減額

負担金は、1262 万 4 千円を見込んでおります。前年度に比べて 210 万 7 千円（△14.30%）減額となっています。内容としては資本的支出に係る人件費及び長期前受金として一般会計が負担するものです。

**(2) 資本的支出**

（単位：千円）

款	項	R5 年度	R4 年度	R3 年度	R2 年度	R1 年度
資本的支出		1,626,247	1,121,763	1,019,429	915,054	879,429
	建設改良費	1,177,042	675,677	584,666	476,728	465,661
	企業債償還金	447,637	444,518	434,598	431,726	413,768
	固定資産購入費	1,568	1,568	165	6,600	0
	（補填額）	263,375	248,139	228,919	257,481	259,010

※ R1～R3年度は決算の数値で、R4～R5年度は当初予算の数値です。

資本的支出は、16億 2624 万 7 千円で、前年度に比べ 5 億 448 万 4 千円（44.97%）増額となっています。

**建設改良費**・・・前年度に比べ 5 億 136 万 5 千円（74.20%）増額

建設改良費は、11 億 7704 万 2 千円で、前年度に比べ、5 億 136 万 5 千円（74.20%）の増額となっています。内訳は、管渠費が 4 億 9125 万 8 千円（136.15%）の増額、ポンプ場費が 1673 万 9 千円（6.55%）の増額、流域下水道費が 386 万 5 千円（△12.57%）の減額、業務費が 276 万 7 千円（△9.63%）の減額となっております。

（単位 千円）

項目	R5 年度	R4 年度	増減
建設改良費	1,177,042	675,677	501,365
管渠費	852,070	360,812	491,258
ポンプ場費	272,118	255,379	16,739
流域下水道費	26,886	30,751	△3,865
業務費	25,968	28,735	△2,767

**企業債償還金**・・・前年度に比べ 311 万 9 千円（0.70%）増額

企業債償還金は、4 億 4763 万 7 千円で、前年度に比べ 311 万 9 千円（0.70%）の増額となっています。

(単位 千円)

項目	R5 年度	R4 年度	増減額
建設改良費に充てる企業債償還金	360,082	361,342	△1,260
流域下水道事業債償還金	49,491	52,953	△3,462
資本平準化債償還金	38,064	30,223	7,841
合計	447,637	444,518	3,119

#### 固定資産購入費・・・前年度同額 (0.00%)

固定資産購入費は、156 万 8 千円で、前年度と同額です。内容としては、ポンプ場自家発電用蓄電池等の購入費となります。

#### 【補填財源】・・・前年度と比べ 1523 万 6 千円 (6.14%) 増加

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額で、2 億 6337 万 5 千円で、前年度に比べ 1523 万 6 千円 (6.14%) 増加しています。

この不足額については、当年度分消費税資本的収支調整額 7906 万 5 千円、過年度分損益勘定留保資金 8105 万 8 千円及び減債積立金 1 億 325 万 2 千円で補填します。

### 4 予定支出の各項の経費の金額の流用

公営企業運営の円滑化または経済性を十分発揮させるため、各項の間において、流用禁止項目以外のもので、予算執行上必要のある場合は、流用することができる経費を、**営業費用、営業外費用、特別損失**と定めるものです。

### 5 議会の議決を経なければ流用することのできない経費

公営企業は、予算が機動的な経営を拘束することのないように、「目」の予算については、管理者（下水道事業にあっては、管理者の事務を行う市長）において流用することができるものとされています。ただし、**職員給与費**については、他の費目とは異なり、予算の流用を制限するものです。

### 6 棚卸資産購入限度額

棚卸資産として、緊急の工事に使用する使用するマンホールの蓋を貯蔵品として保有していますが、年度内に購入する**限度額を 31 万円**とするものです。

## 7 主な事業

### (1) 清潔で快適な生活環境の確保

#### ★ 水洗化率の向上 〔84 千円〕

公共下水道処理区域内の未接続建物所有者に対し、接続していただくため、広報誌への記事の掲載、水洗便所改造資金の融資、水洗化促進通知を実施しています。

区 分	R4 年度	R3 年度	R2 年度	R1 年度	H30 年度
水 洗 化 率 ( % )	97.0	96.9	96.5	96.3	96.0

### (2) 効率的な施設整備

#### ★ 管渠建設改良事業 〔790,840 千円〕

○ 吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業に伴う管渠布設工事など

- ・ 工事設計業務委託（汚水・雨水）
- ・ 排水管布設工事費（汚水）：3493m
- ・ 排水管布設工事費（雨水）：1085m

#### ★ ポンプ場設備更新事業 〔259,292 千円〕

ポンプ場の設備の老朽化に伴い、施設更新事業を実施します。

- ・ 吉川中央第二調整池排水ゲートオーバーホール修繕
- ・ 吉川中央第一調整池No.2 排水ポンプオーバーホール修繕
- ・ 高久ポンプ場No.3 排水ポンプオーバーホール修繕
- ・ 美南一・二丁目調整池制御盤更新工事
- ・ 吉川中央第二調整池制御盤更新工事
- ・ 高久ポンプ場制御盤更新工事
- ・ 吉川中央第二調整池No.2 排水ポンプ更新工事など

#### ★ 設備の適正な維持管理 〔54,019 千円〕

設備を適正に維持するとともに長寿命化を図るため、設備の維持水準や優先度を考慮し、修繕等により設備の適正な維持管理を実施します。

- ・ 舗装補修に伴うマンホール補修工事
- ・ マンホール周辺舗装補修及び鉄蓋交換工事
- ・ 管渠内洗浄業務委託
- ・ 管渠内調査業務委託など

### (3) 効率的な経営

厳しい経営環境のもと、信頼される下水道をめざすためには、安定した経営基盤の構築が不可欠であり、効率的な事業運営の推進に努めます。

## ★事務の効率化

[76,068 千円]

データの正確性、事務の効率化を推進していきます。

### ○下水道使用料徴収事務委託

- ・下水道使用料の徴収事務を民間事業者に委託することにより、事務の効率化及び収納率の向上を図ります。

### ○下水道台帳整備委託料及び資産管理台帳システム保守業務委託料

- ・下水道台帳の電子化を行い事務の効率化を図り、毎年度データの更新を行います。